

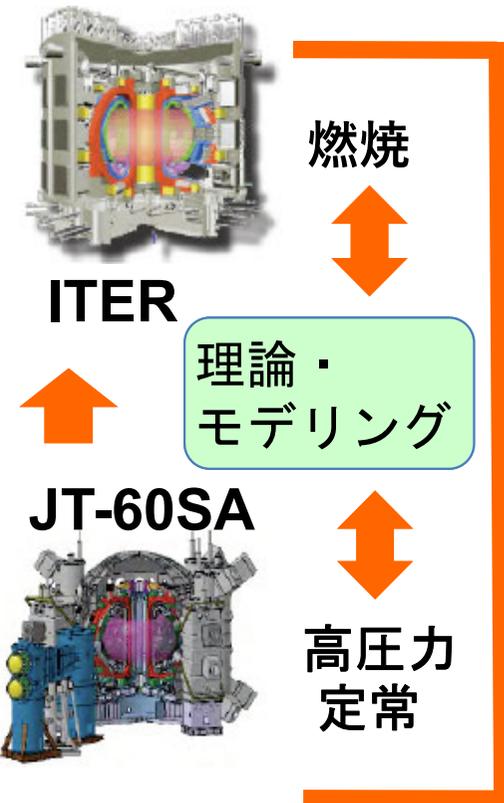
# ITERとJT-60SAを用いつつ、日本の力を結集して原型炉を実現

炉心プラズマ： JT-60SA + ITER + 理論・モデリング⇒ DEMO

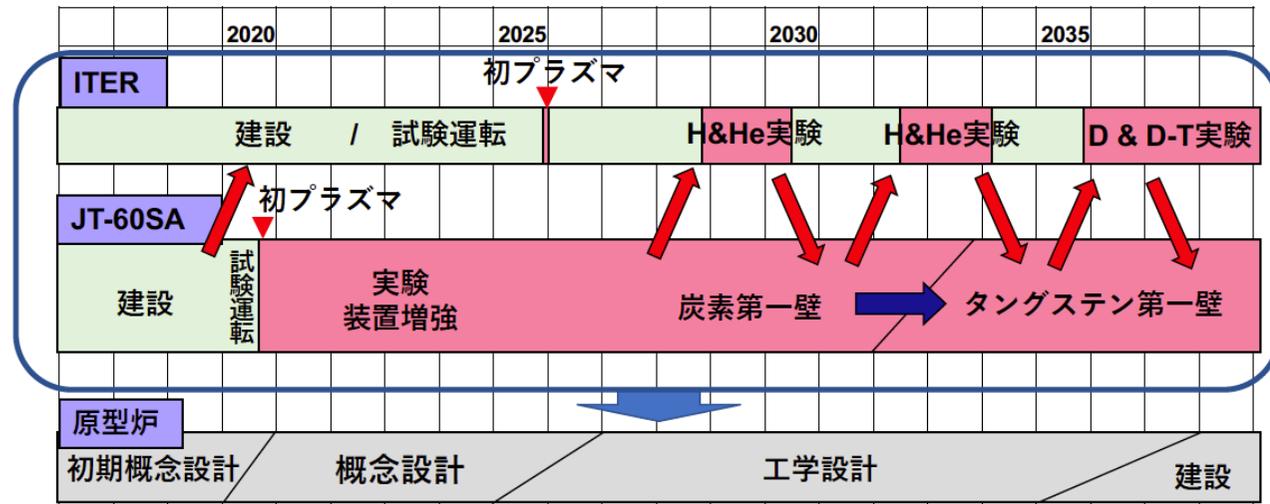
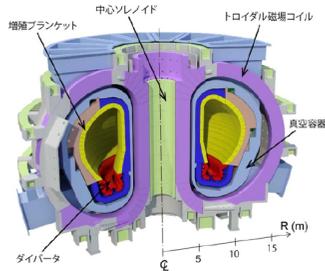
核融合工学： JT-60SA + ITER (含TBM)： 機器 & システム統合 ⇒ 炉システム工学

## ITERとJT-60SAは、研究コミュニティの装置

JT-60SAは、日本に立地する大型国際研究拠点⇒ 学術研究に利用してください⇒ ITER大学の「オンサイトラボ」を那珂研に設置した。(東大、九大、名大、筑波大、京大、NIFS)



経済性に優れた  
定常原型炉



# キャリアパスの観点

原型炉設計・建設・運転

ITER実験・運転チーム



ITER機構職員 (含 実験リーダー等)

協力研究者 として参加  
(長期, 短期・遠隔)

ITER日本研究チーム  
QST・NIFS・大学・産業界 (QST 取纏)

産業界

NIFS・  
総研大



LHD

教員

ポスドク\*

学生\*

\*各大学からの特別研究員を含む

核融合理工学学術研究

実験・理論・機器開発・原型炉設計



QUEST,  
GAMMA10,  
TST-2, LATE,  
Heliotron-J,  
学内連携組織  
等

大学

教員

ポスドク

学生

QST

教員

ポスドク

学生

大学オンサイトラボ

那珂&六ヶ所



JT-60SA

理論・モデリング  
工学機器開発  
原型炉設計

## FUSION学術研究に望むこと

原型炉判断時点で「私たちは、炉心プラズマを十分理解している」と言えること

( $\leq$  JT-60SA / ITER を、学術研究の場として利用。  
マイルストーンを設定した学術研究も大切)

FUSIONを（一層の）「憧れの研究分野」とすること

次代の若手が集う。社会からの支援。

核融合（プラズマ／工学）分野と他分野の連関促進=> 科学と人材

「核融合炉システム工学」の専門分野ができると良い  
(プラズマも要素の一つ) = ITER / JT-60SAの活用